



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月25日

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ 上場取引所 東  
コード番号 7327 URL <https://www.dhfg.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 殖粟 道郎  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三島 康人 TEL 025-224-7111  
特定取引勘定設置の有無 無  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	57,738	10.8	17,506	18.4	12,786	18.9
2025年3月期第1四半期	52,109	7.1	14,776	10.6	10,751	△1.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 19,333百万円( -%) 2025年3月期第1四半期 △6,864百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	146.50	—
2025年3月期第1四半期	122.70	—

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,850,346	491,939	4.5
2025年3月期	10,977,796	478,870	4.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 491,932百万円 2025年3月期 478,864百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期 (分割後換算)	—	112.00 (56.00)	—	75.00	— (131.00)
2026年3月期 (予想)	—	75.00	—	75.00	150.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2025年3月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。2025年3月期の期末配当金については当該株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計は株式分割の実施により単純合算できないため「—」として記載しております。

なお、株式分割を考慮した場合の2025年3月期の年間配当金合計は131円00銭となります。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,400	14.6	16,100	9.8	184.28
通期	48,000	16.7	33,000	12.4	377.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	91,885,956株	2025年3月期	91,885,956株
2026年3月期1Q	4,520,164株	2025年3月期	4,626,872株
2026年3月期1Q	87,280,806株	2025年3月期1Q	87,618,070株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数（四半期累計）については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(セグメント情報等の注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8

※2026年3月期 第1四半期決算説明資料

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、米国の関税政策や物価上昇の影響などから一部に弱めの動きがみられたものの、雇用・所得環境の改善などから個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、全体として緩やかな回復となりました。

当社グループの主要な営業基盤である新潟県内の経済につきましても、原材料価格の上昇等により一部に弱い動きがみられたものの、企業収益および個人消費ともに改善の動きが続き、全体としては持ち直しの動きとなりました。

このような金融経済環境のもと、当第1四半期連結累計期間の損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息の増加等により、前年同期比56億28百万円増加し、577億38百万円となりました。

経常費用は、預金利息の増加等により、前年同期比28億98百万円増加し、402億31百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比27億30百万円増加し、175億6百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比20億35百万円増加し、127億86百万円となりました。

セグメントごとの損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

#### ・銀行業

経常収益は、前年同期比54億64百万円増加し、492億48百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比32億27百万円増加し、167億27百万円となりました。

#### ・リース業

経常収益は、前年同期比2億94百万円増加し、56億30百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比1億32百万円減少し、1億40百万円となりました。

#### ・証券業

経常収益は、前年同期比2億27百万円減少し、12億51百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比2億79百万円減少し、3億81百万円となりました。

#### ・その他

経常収益は、前年同期比35億84百万円増加し、96億5百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比33億73百万円増加し、71億21百万円となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,274億円減少し、10兆8,503億円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比130億円増加し、4,919億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、以下のとおりとなりました。

預金は、前連結会計年度末比171億円減少し、8兆5,048億円となりました。譲渡性預金は、前連結会計年度末比485億円減少し、1,634億円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比37億円減少し、5兆5,768億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比1,394億円減少し、2兆7,654億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期（累計）および通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	2,147,289	2,133,559
買入金銭債権	14,121	12,024
商品有価証券	2,243	2,264
金銭の信託	4,947	4,948
有価証券	2,904,886	2,765,430
貸出金	5,580,589	5,576,816
外国為替	26,461	23,275
その他資産	206,444	246,784
有形固定資産	54,179	53,475
無形固定資産	6,741	6,024
退職給付に係る資産	32,977	33,394
繰延税金資産	8,348	4,275
支払承諾見返	19,352	19,553
貸倒引当金	△30,784	△31,479
資産の部合計	10,977,796	10,850,346
<b>負債の部</b>		
預金	8,522,003	8,504,853
譲渡性預金	212,011	163,463
売現先勘定	166,011	155,252
債券貸借取引受入担保金	367,662	387,418
借入金	965,660	955,640
外国為替	749	652
信託勘定借	20,198	20,784
その他負債	208,763	137,256
賞与引当金	2,581	183
役員賞与引当金	171	—
株式報酬引当金	931	977
退職給付に係る負債	745	711
役員退職慰労引当金	53	37
睡眠預金払戻損失引当金	814	775
偶発損失引当金	1,726	1,740
固定資産解体費用引当金	1,012	876
特別法上の引当金	28	28
繰延税金負債	3,566	3,544
再評価に係る繰延税金負債	4,878	4,654
支払承諾	19,352	19,553
負債の部合計	10,498,925	10,358,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	102,987	102,987
利益剰余金	331,103	337,199
自己株式	△8,692	△8,490
株主資本合計	455,399	461,696
その他有価証券評価差額金	△16,967	△6,483
繰延ヘッジ損益	22,085	18,542
土地再評価差額金	5,281	5,506
退職給付に係る調整累計額	13,064	12,670
その他の包括利益累計額合計	23,464	30,236
非支配株主持分	6	6
純資産の部合計	478,870	491,939
負債及び純資産の部合計	10,977,796	10,850,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
経常収益	52,109	57,738
資金運用収益	31,856	34,995
(うち貸出金利息)	12,981	16,095
(うち有価証券利息配当金)	15,352	15,425
信託報酬	28	26
役務取引等収益	8,651	8,962
その他業務収益	9,557	8,603
その他経常収益	2,015	5,151
経常費用	37,333	40,231
資金調達費用	10,704	11,165
(うち預金利息)	390	3,285
役務取引等費用	2,839	2,743
その他業務費用	6,270	6,706
営業経費	15,946	16,539
その他経常費用	1,572	3,077
経常利益	14,776	17,506
特別利益	350	238
固定資産処分益	350	101
固定資産解体費用引当金戻入益	—	136
特別損失	25	42
固定資産処分損	5	4
減損損失	18	38
金融商品取引責任準備金繰入額	1	—
税金等調整前四半期純利益	15,101	17,702
法人税、住民税及び事業税	2,852	4,009
法人税等調整額	1,497	906
法人税等合計	4,350	4,915
四半期純利益	10,751	12,786
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,751	12,786

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	10,751	12,786
その他の包括利益	△17,615	6,547
その他有価証券評価差額金	△26,323	10,483
繰延ヘッジ損益	9,122	△3,542
退職給付に係る調整額	△414	△393
四半期包括利益	△6,864	19,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,864	19,334
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	43,619	5,242	1,468	50,331	1,895	52,226	△116	52,109
セグメント間の内部経常収益	164	93	11	268	4,125	4,393	△4,393	—
計	43,784	5,335	1,479	50,599	6,021	56,620	△4,510	52,109
セグメント利益	13,499	272	660	14,432	3,747	18,180	△3,403	14,776

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、クレジットカード業務等を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△116百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額△85百万円等を含んでおります。
4. セグメント利益の調整額△3,403百万円は、セグメント間取引消去等であります。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	49,002	5,541	1,243	55,786	2,058	57,845	△107	57,738
セグメント間の内部経常収益	246	88	8	343	7,547	7,891	△7,891	—
計	49,248	5,630	1,251	56,130	9,605	65,736	△7,998	57,738
セグメント利益	16,727	140	381	17,249	7,121	24,370	△6,863	17,506

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、クレジットカード業務等を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△107百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額△23百万円等を含んでおります。
4. セグメント利益の調整額△6,863百万円は、セグメント間取引消去等であります。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,793百万円	1,615百万円

# 2026年3月期 第1四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	1
	(2) 第四北越銀行 単体	2
2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	3
	(2) 第四北越銀行 単体	3
3. 有価証券の評価損益 (繰延ヘッジ考慮後)	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	4
	(2) 第四北越銀行 単体	4
4. 預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	5

- (注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。  
2. 前年同期比、2024年6月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。  
3. 自己資本比率につきましては、現在算出中につき、確定次第開示致します。

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

○連結粗利益は、前年同期比16億円増益の319億円となりました。  
 その他業務利益は13億円減益となりましたが、資金利益が26億円増益となったほか、役務取引等利益も4億円増益となりました。

○経常利益は、前年同期比27億円増益の175億円となりました。  
 営業経費は5億円増加しましたが、連結粗利益の増益に加え、株式等関係損益が19億円増加しました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比20億円増益の127億円となりました。  
 特別損益は1億円減少し、法人税等の税金関係費用は5億円増加しました。  
 なお、第2四半期の予想値(161億円)に対する進捗率は79.4%、通期の予想値(330億円)に対する進捗率は38.7%となっております。

(単位:百万円)

		2026年3月期		2025年3月期	(参考) 2025年3月期
		第1四半期	前年同期比	第1四半期	
連結粗利益	1	31,974	1,695	30,279	103,586
資金利益	2	23,831	2,680	21,151	73,584
役務取引等利益	3	6,245	405	5,840	25,258
その他業務利益	4	1,897	△1,390	3,287	4,743
営業経費(△)	5	16,539	593	15,946	62,661
貸倒償却引当費用(△)	6	1,364	41	1,323	5,560
貸出金償却(△)	7	152	76	76	894
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	1,239	191	1,048	4,939
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	△158	△117	△41	△892
延滞債権等売却損(△)	10	—	△0	0	72
その他(△)	11	129	△111	240	546
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	356	23	333	835
株式等関係損益	14	2,552	1,907	645	3,260
その他	15	527	△260	787	1,651
経常利益	<b>【234億円】</b> 16	17,506	2,730	14,776	41,112
特別損益	17	195	△129	324	63
固定資産処分損益	18	97	△247	344	146
その他	19	98	118	△20	△83
税金等調整前四半期(当期)純利益	20	17,702	2,601	15,101	41,176
法人税、住民税及び事業税(△)	21	4,009	1,157	2,852	10,524
法人税等調整額(△)	22	906	△591	1,497	1,300
四半期(当期)純利益	23	12,786	2,035	10,751	29,350
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失(△)	24	△0	△0	0	0
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 <b>【161億円】</b>	25	12,786	2,035	10,751	29,349

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益 + 信託報酬 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 【 】は2026年3月期第2四半期予想値(2025年5月9日公表値)

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	26	15,080	1,224	13,856	39,850
--------	----	--------	-------	--------	--------

(注) 連結業務純益 = 第四北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(2) 第四北越銀行 単体

- コア業務粗利益は、前年同期比17億円増益の290億円となりました。
- ・資金利益は、預金利息が増加した一方、貸出金利息が貸出金平残の増加および貸出金利回りの上昇により増加したことを主因に、前年同期比26億円増益の235億円となりました。
  - ・役務取引等利益は、M&A手数料や融資関連手数料などが増加したことを主因に前年同期比5億円増益の39億円となりました。
  - ・その他業務利益（除く国債等債券損益）は、お客さまの為替変動リスクを回避する効果のあるデリバティブ取引に伴う収益の減少を主因に前年同期比14億円減益の16億円となりました。
- コア業務純益は、前年同期比13億円増益の136億円となりました。
- ・経費は、人件費を中心に4億円増加しました。
- 経常利益は、前年同期比32億円増益の167億円となりました。
- ・ネット信用コストおよび国債等債券損益はほぼ横ばいでしたが、株式売却益の増加により株式等関係損益は19億円増加しました。
- 四半期純利益は、前年同期比20億円増益の119億円となりました。

(単位:百万円)

		2026年3月期		2025年3月期	(参考) 2025年3月期	
		第1四半期	前年同期比	第1四半期		
業務粗利益	1	28,830	1,741	27,089	90,844	
(コア業務粗利益)	2	(29,096)	(1,784)	(27,312)	(98,313)	
資金利益	3	23,582	2,681	20,901	72,658	
うち投資信託解約損益	4	874	△1,783	2,657	2,036	
役務取引等利益	5	3,913	524	3,389	15,478	
その他業務利益	6	1,333	△1,465	2,798	2,707	
うち国債等債券損益	7	△266	△44	△222	△7,468	
経費（除く臨時処理分）(△)	8	15,404	466	14,938	58,570	
うち人件費(△)	9	7,903	322	7,581	30,529	
うち物件費(△)	10	6,525	127	6,398	24,578	
実質業務純益	11	13,426	1,275	12,151	32,274	
(コア業務純益)	12	【211億円】	(1,318)	(12,374)	(39,743)	
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	(12,818)	(3,102)	(9,716)	(37,706)	
一般貸倒引当金繰入額(△)①	14	△187	△137	△50	△957	
業務純益	15	13,614	1,412	12,202	33,232	
(金銭の信託運用見合費用)(△)	16	(1)	(1)	(0)	(2)	
臨時損益	17	3,115	1,818	1,297	1,898	
不良債権処理額(△)②	18	978	107	871	5,508	
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	19	(791)	(△30)	(821)	(4,550)	
貸倒引当金戻入益	20	—	—	—	—	
偶発損失引当金戻入益	21	—	△81	81	206	
償却債権取立益	22	352	20	332	831	
株式等関係損益	23	2,510	1,967	543	2,927	
その他の臨時損益	24	1,230	19	1,211	3,442	
経常利益	25	【208億円】	3,228	13,499	35,127	
特別損益	26	61	△265	326	67	
うち固定資産処分損益	27	61	△283	344	144	
うち減損損失(△)	28	—	△18	18	90	
税引前四半期(当期)純利益	29	16,788	2,962	13,826	35,195	
法人税、住民税及び事業税(△)	30	3,640	1,166	2,474	8,803	
法人税等調整額(△)	31	1,232	△261	1,493	1,149	
四半期(当期)純利益	32	【143億円】	2,057	9,858	25,242	
(参考)						
ネット信用コスト(△)	14+18-20-21-22	33	438	32	406	3,513

- (注) 1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益  
 2. 実質業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）  
 3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（除く臨時処理分）  
 4. 【 】は2026年3月期第2四半期予想値（2025年5月9日公表値）

2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

○不良債権額は、第四北越フィナンシャルグループ連結で前年同期末比2.8億円減少し1,176億円、第四北越銀行単体で前年同期末比3.1億円減少し1,161億円となりました。

○不良債権比率は、第四北越フィナンシャルグループ連結で前年同期末比0.11ポイント低下の2.07%、第四北越銀行単体で前年同期末比0.11ポイント低下の2.03%となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

	2025年6月末		2024年6月末	(単位:億円)
		2024年6月末比		(参考) 2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	76	10	66	74
危険債権	1,061	△ 26	1,087	1,077
要管理債権	38	△ 12	50	43
三月以上延滞債権額	5	△ 5	10	9
貸出条件緩和債権額	32	△ 7	39	33
小計 (A)	1,176	△ 28	1,204	1,195
正常債権	55,582	1,578	54,004	55,622
債権額合計 (B)	56,759	1,551	55,208	56,817
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.07%	△ 0.11%	2.18%	2.10%

(2) 第四北越銀行 単体

	2025年6月末		2024年6月末	(単位:億円)
		2024年6月末比		(参考) 2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	65	10	55	64
危険債権	1,058	△ 28	1,086	1,074
要管理債権	38	△ 12	50	43
三月以上延滞債権額	5	△ 5	10	9
貸出条件緩和債権額	32	△ 7	39	33
小計 (A)	1,161	△ 31	1,192	1,182
正常債権	55,948	1,660	54,288	55,972
債権額合計 (B)	57,110	1,630	55,480	57,154
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.03%	△ 0.11%	2.14%	2.06%

3. 有価証券の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)

○第四北越フィナンシャルグループ連結の有価証券全体の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)は169億円の含み益、第四北越銀行単体の有価証券全体の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)は168億円の含み益となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円)

	2025年6月末				2024年6月末				(参考) 2025年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
満期保有目的	1,407	△31	0	31	1,376	△13	—	13	1,392	△39	—	39
その他有価証券	26,074	200	1,562	1,361	28,173	351	1,905	1,554	27,482	103	1,598	1,494
株式	2,095	1,006	1,018	11	2,154	1,084	1,087	3	2,026	944	956	12
債券※	13,967	△602	61	664	14,116	△446	133	580	13,294	△640	118	759
その他	10,011	△203	482	685	11,902	△285	684	969	12,162	△200	522	722
うち外国証券※	6,887	△230	294	524	7,573	△292	462	755	7,548	△182	312	494
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	27,482	169	1,562	1,392	29,550	337	1,905	1,567	28,875	64	1,598	1,534

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円)

	2025年6月末				2024年6月末				(参考) 2025年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
満期保有目的	1,392	△31	—	31	1,376	△13	—	13	1,392	△39	—	39
その他有価証券	25,896	199	1,554	1,354	27,986	338	1,893	1,554	27,307	105	1,592	1,487
株式	1,917	997	1,007	9	1,967	1,067	1,070	2	1,851	938	948	9
債券※	13,967	△598	61	660	14,116	△440	134	575	13,294	△636	118	755
その他	10,011	△200	485	685	11,902	△287	688	976	12,162	△197	525	722
うち外国証券※	6,887	△230	294	524	7,573	△293	462	756	7,548	△182	312	494
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	27,289	168	1,554	1,386	29,362	325	1,893	1,568	28,700	65	1,592	1,526

※債券及び外国証券については、時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は繰延ヘッジ考慮後の計数を記載しております。

4. 預金等、貸出金残高

第四北越銀行 単体

○貸出金の期末残高は、前年同期末比1,823億円増加し、5兆6,119億円となりました。  
 ・県内事業性貸出残高は、実質無利子融資の返済継続や設備資金の減少などを主因に減少しましたが、県外事業性貸出残高が、資金需要のある大企業向け貸出やストラクチャードファイナンスが増加したことなどから、事業性貸出全体では前年同期末比増加しました。  
 ・消費性貸出は、非対面チャネルの利便性向上や商品ラインアップの増強などにより、住宅ローン及び無担保ローンのいずれも前年同期末比増加しました。  
 ○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期末比103億円減少し、8兆7,141億円となりました。

(単位:億円)

	2025年6月末		2024年6月末	(参考) 2025年3月末
		2024年6月末比		
貸出金残高	56,119	1,823	54,296	56,143
県内事業性貸出残高	16,657	△121	16,778	16,903
うち中小企業向け貸出残高	13,438	△239	13,677	13,780
県外事業性貸出残高	17,771	2,732	15,039	17,170
うち中小企業向け貸出残高	6,328	659	5,669	6,106
消費性貸出残高	15,237	286	14,951	15,172
公金貸出残高	6,452	△1,075	7,527	6,896
預金等残高	87,141	△103	87,244	87,803
うち県内預金等残高	85,344	△60	85,404	86,080
うち個人預金等残高	57,489	△375	57,864	57,114

(注) 預金等残高=預金+譲渡性預金



5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

第四北越銀行 単体

○預かり資産残高は前年同期末比667億円増加し、1兆781億円となりました。  
 投資信託は41億円、公共債は249億円、保険は376億円それぞれ増加しました。

(単位:億円)

	2025年6月末		2024年6月末	(参考) 2025年3月末
		2024年6月末比		
預かり資産残高	10,781	667	10,114	10,316
投資信託	2,067	41	2,026	1,940
公共債	932	249	683	726
保険	7,781	376	7,405	7,649
(参考) 第四北越証券	5,394	195	5,199	5,059

以 上